

Ferrari 250 GTO Moal Gatto (イタリア / 米国, 1963 / 2010)

デザイナーと小さなシリーズ

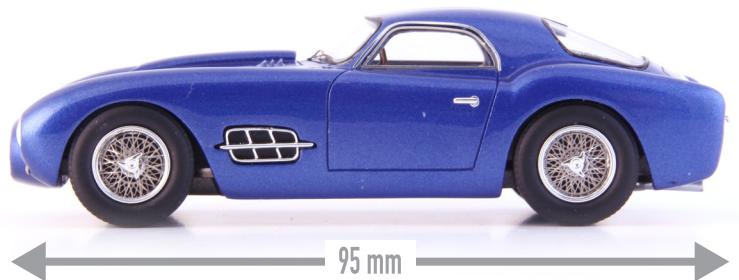
Scale 1/43

#05034

available

08/2020

Limited edition 333 Stk.



一見歴史的な

カリフォルニア出身のビル・グリムスレーは自分の理想の車を作るという夢を70歳で実現しました。投資マネージャーを引退後、彼は主に1950年代と60年代のヨーロッパのスポーツカー、特にイタリアの傑作に深い愛着をもっていました。この時代のインスピレーションと「Moal」という会社に偶然出会ったことで、彼は自分の車を作ることができたのです。

オーナーのスティーブ・モールとそのメカニックは、セミモノクックフレームを採用しました。エンジンは1963年のフェラーリ V12エンジンで、300馬力に調整されていました。最新の5速トレメック社製トランスミッションは、エンジン出力を後輪車軸に伝達しました。設計については、さまざまなコンポーネントを独自の設計に統合する必要がありますがありました。最終的に浮かび上がったのは、イタリアのデザイン部門、マセラティ、フェラーリ、ザガートの名手たちの手法を組み合わせるというものでした。そして類似点をもっと探してみると、アストンマーチンの機能も見つかるはずですよ！もちろん、それはすぐに目が行くフロントエンドであり、1950年代のマセラティレーシングカーに類似しています。アルミ製の車体を仕上げるのに実に9ヶ月もかかりました。完成すると、車体はコバルトブルーで塗装され、懐かしい外観の16インチBorrani社製スポークホイールとともにシャーシに取り付けられました。このユニークなプロジェクトの制作には4~5年の年月が費やされ、ビル・グリムスレーが彼の唯一無二のモデルに付けた値札には100万USドルという価格が書かれていました。

ビル・グリムスレーは彼の車を「Gatto」と名付けました、そして彼がそれを運転すると、どこでもすぐに見物の人ばかりが出来ました。

ビル・グリムスレーは彼の車を「Gatto」と名付けました、そして彼がそれを運転すると、どこでもすぐに見物の人ばかりが出来ました。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de